

あの空へ帰ろう。

1985年8月JL123便が墜落し、520人が亡くなりました。

この後、JALは2度と事故を起こさないために、

1. 絶対安全の確立、2. 現場第一主義、3. 公正明朗な人事、4. 労使関係の安定・融和という4つの誓いを掲げ、社員一丸となり「安全運航」を目指しました。

しかし、1987年の完全民営化やバブル景気を背景に経営陣はいつの間にか誓いを忘れ、本業以外に投資し全て失敗しました。また利益第一主義を貫いたため、安全は二の次となり、航空法違反などの事例が相次ぎ、2005年に国から業務改善命令を受けました。

JALは利用者の信頼も失い2010年に経営破綻しました。再建の途中で、1500億円以上の営業利益があがり、人員削減の目標も達成していたにもかかわらず、ベテランのパイロットと客室乗務員165人を不当に解雇したのです。

ベテランは、その経験から安全を担保できる貴重な存在です。

また後輩に知識や技術を伝える大切な役割を担っています。

私たちは必要性がない理不尽な解雇を受け入れることはできません。

空の安全を守ってきた誇りにかけて、JALに戻りたいと思っています。

●123便事故とは…

1985年8月12日、羽田を飛び立ったジャンボ機が群馬県の御巣鷹の尾根に墜落しました。520人の犠牲者を出した史上最悪の航空機事故でした。ここに改めて、亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。

私は、結婚しても、出産しても、客室乗務員として働くことができました。これも先輩たちの運動があったおかげです。2010年大晦日に奪われた、私たちの働く権利をもう一度取り戻して、快適な空の旅を提供したいと思います。
(客室乗務員)

機長として無事故でフライトしてきたことは、大きな誇りです。たくさんのお客様の生命を預かるために、日々の学習や健康管理を当たりまえの様に続けてきました。ところが、突然解雇され、大きなショックを受けました。JALはパイロットが不足しています。いつでも戻って、フライトできます。
(パイロット)

We'll be back **JAL**

誇りを持って、 働き続けて30年。 総飛行距離、 地球100周分。



プロとしてのプライドがある。 JALは不当解雇の撤回を。

日本航空の不当解雇撤回を目指す国民支援共闘会議

日本航空の不当解雇撤回を目指す国民支援共闘会議

〒144-0043 東京都大田区羽田5-11-4 フェニックスビル 航空労組連絡会気付
TEL 03-5705-5716 FAX 03-5737-7819

公式ホームページ **JAL原告団** **検索** <http://jalgkd.wix.com/japan-airlines165>



JALの不当解雇とは？

2010年のJAL破綻の際、正当な理由なく、パイロット・客室乗務員あわせて165人が解雇されました。

⇒詳しくは中面をチェック

ベテランの不在は安全に問題も

破綻時に4000人以上の経験豊かな社員たちが会社を去りました。ベテランを切り捨てたことで、現場で安全上のトラブルも引き起こしています。

⇒詳しくは中面をチェック